

文教厚生常任委員会活動レポート

開催日：令和8年1月29日(木)

開催場所：1・2号委員会室

町立病院

1. 町立病院の管理運営について

令和7年度12月末現在の入院患者は1日平均113.8人、病床利用率は65.8%で予算との比較では延べ患者数で4人、0.1%の増となりました。外来患者は1日平均622.3人で予算との比較では延べ患者数で92人、0.7%の増となります。

入院外来の診療収入は3億14541万8,000円で、予算との比較では1421万6000円増となり前年同月との比較では、913万9000円の増となったとの説明がありました。

【主な質疑】

委員：新年度に診療報酬改定がありますが、物価高騰や人件費増の中、病院経営への影響は？

担当：診療報酬の本体の改定率で3.09%のアップ、薬価等の改定率でマイナス0.87%の改定となります。現在、診療報酬項目の細かな点数が示されていませんが、概算見込で6000万円程度の増となります。なお、賃上分、物価対応分を十分に賄うことは難しい見込です。

委員：12月の入院診療収入などが伸びている要因は？

担当：令和2年からコンサルタントを入れ経営改革を始めてきました。当院は110床プロジェクトをやっていて、1日平均入院患者数は110人以上確保し、ベッドを埋めて収益を出しています。平均在院日数を延ばし、患者さんの状態に応じて入退院をコントロールしベッド数を確保したためです。

町民生活部

1. 地域福祉・障がい者支援事業について

(高齢者の地域見守りに関する連携協定について)

株式会社東武及び株式会社ライフクリエーションの民間事業者から「地域を見守る(高齢者の見守り)」社会貢献活動に中標津町と協定締結のうえ実施したいとの意向があり、令和8年2月中旬に協定締結予定との説明を受けました。

活動内容は高齢者宅への訪問時、日常と比べ明らかに様子がおかしいと思われるような異変等に気づいたときに福祉課に連絡し、不測の事態を未然に防ぐことを目的としています。

なお、同様の連携協定事業者は9社目となります。

【主な質疑】

委員：これまでの連携協定先からの通報実績は？

担当：実績は 12 件あり、その中には単に不在もありましたが、発見時には死亡が確認されて不搬送となったものもありました。

委員：死亡されていたケースもあるようで、この事業は成果を上げていると思いますが、中標津町から通報に対してのお礼はどのような形で行われていますか？

担当：通報に関して謝金などは出しておりません。協定範囲の中で引き続き安否確認の情報提供をいただき継続させていただいている。

委員：事業者の協力をさらに強化していくうと思うと、企業として社会参加している実感を伴うような感謝の気持ちを表す努力は必要では？

担当：今後検討していきたいと思います。

2. 住民生活・環境衛生事業について

（日本航空株式会社と連携した家庭用廃食油のリサイクルの推進について（S A F））

日本航空株式会社より上記の件について連携協定の打診があり、空港を有する町として趣旨に賛同し、家庭用廃食油のリサイクルを推進し、ごみの減量化や脱炭素化にも寄与することを目的に令和 7 年 12 月 19 日に連携協定を締結しました。

令和 8 年 1 月 15 日に東武サウスヒルズに廃食油の回収ボックスを設置し町民が持参した廃食油の回収を始めました。日本航空株式会社は回収した廃食油を S A F（持続可能な航空燃料）として利用するものです。

【主な質疑】

委員：廃食油の回収は通常のペットボトルでもいいですか？

担当：使用したペットボトルがリサイクル不可となるため、220 円の専用ボトルを推奨しています。